



市議会だより

No.76 2025.1

うんなん

新しい陣容による 初議会



12月定例会

制が決まりました



副議長
原 祐二



議長
松林 孝之

議長あいさつ

昨年11月の雲南市議会議員選挙を経て新たに19名の議員により、6期目がスタートし、私が議長に就任することとなりました。市政の発展と議会のさらなる活性化に尽力してまいります。

昨年は、能登半島地震や豪雨災害など、全国で多くの自然災害が発生しました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、ロシアとウクライナの紛争は依然として終息が見えず、物価や燃料の高騰が続く中、島根原子力発電所2号機が再稼働しました。エネルギー施策は国の責任下で展開されるものの、市議会としても安全確保を最優先に、中国電力株式会社等へ働きかけてまいります。

迎え、令和7年度は「第3次雲南市総合計画」のスタートであり「えすこな雲南市」を未来像として掲げ、「変わらず、変える」を基本理念に持続可能なまちづくりへ向けて次のステージへと進んでまいります。人口減少や高齢化といった課題に立ち向かう我がふるさと雲南市を、市議会としても「雲南市議会基本条例」に則り、開かれた議会運営を目指し、改革を進めてまいります。

本年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。巳は脱皮を繰り返す象徴とされ、再生や柔軟な発展を意味します。この精神のもと、雲南市がさらに成長を遂げる一年となるよう尽力いたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

市議会の新しい体

新議会構成

議長

松林 孝之

教育民生常任委員会

◎上代 和美

島根原子力発電対策特別委員会

◎梶谷 佳平

副議長

原 祐二

◎多賀 法華

◎福間 守

議会選出監査委員

中村 辰眞

福間 守

石原 忍

産業建設常任委員会

◎安田 栄太

高橋美佐子

雲南市・飯南町事務組合議会議員

◎廣野 祐二

竹部 貴博

◎矢壁 正弘

原 良太

後藤 昭三

◎石原 忍

高橋美佐子

安田 栄太

多賀 法華

中林 孝

福間 守

安田 栄太

矢壁 正弘

松林 孝之

梶谷 佳平

中林 孝

原 祐二

上代 和美

議会広報広聴特別委員会

◎多賀 法華

松林 孝之

総務常任委員会

◎梶谷 佳平

◎原 良太

廣野 祐二

◎石原 忍

吾郷 希穂

渡辺 重光

渡辺 重光

石原 忍

多賀 法華

後藤 昭三

廣野 祐二

上代 和美

原 祐二

後藤 昭三

矢壁 正弘

佐藤 隆司

原 祐二

松林 孝之

予算審査特別委員会

◎中林 孝

◎…委員長

◎高橋美佐子

◎…副委員長

(議長を除く全議員)

令和6年第2回臨時会

11月28日に開催した第2回臨時会において正副議長選挙を行い、議長に松林孝之議員を、副議長に原祐二議員を選出しました。

その後、各議員を総務・教育民生・産業建設の常任委員会の委員に選任し、併せて議会運営委員を選任しました。

また、議会広報広聴特別委員会・予算審査特別委員会・島根原子力発電対策特別委員会の設置と各委員の選任、雲南市・飯南町事務組合議会議員選出と雲南広域連合議会議員選出を行いました。

追加日程として、令和6年度雲南市一般会計補正予算(補正額4,300万円増額)の専決処分の承認、雲南市教育委員会委員任命等、同意案件6件への同意と、雲南市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。

補正予算可決

増額

補正後総額 **369億4,954万円**

● **地域総合整備資金貸付事業**
(ふるさと融資により地域振興に資する民間投資支援)



11億4,000万円

● **生活基盤施設耐震化等交付金事業**
(上水道の基幹管路の耐震化)



3,300万円

令和6年12月定例会を12月9日から12月23日まで15日間の会期で行いました。条例7件、一般事件50件、令和6年度補正予算11件、報告1件が上程され、慎重に審議した結果、原案通り可決しました。また、陳情1件については、全会一致で採択しました。

令和6年度12月

一般会計
補正予算(第4号)

補正額 **15億6,900万円**

一般会計
補正予算(第5号)

補正額 **1億9,154万円**



6,573万円

●大東高等学校特別支援事業
(市の定住促進住宅の空き物件を寄宿舍として利活用)



418万円

令和6年度主な補正予算(一般会計)

(単位：千円)

事業名等	内 容	補正額	補正後総額	備考
バス運行対策費補助金	一畑バス（大東線）生活路線維持補助金	10,339	21,889	拡充
市民バス運行事業	塩田バス車庫屋根修繕費及び市民バス車両修繕費	5,550	190,413	拡充
だんだんタクシー事業	だんだんタクシー委託料	4,979	66,757	拡充
介護給付等事業	介護給付費	120,000	1,212,000	拡充
障がい児通所給付事業	障がい児通所給付費	9,000	74,400	拡充
補装具給付事業	障がい者補装具給付費	2,600	11,600	拡充
日常生活用具給付等事業	障がい者日常生活用具給付費	2,400	12,400	拡充
農業委員会総務管理事業	農地利用の最適化のための活動に対する交付金	7,420	28,220	拡充
地域総合整備資金貸付事業	地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）	1,140,000	1,200,000	拡充
大東高等学校特別支援事業	大東高校の令和7年度入学者のための生徒受入環境整備費	4,180	4,180	新規
中学校教師用指導書・準拠教材整備事業	教科書改訂に伴う、令和7年度から中学校で使用する教師用教科書及び指導者用デジタル教科書を含む指導書の購入	17,814	17,814	新規
図書館総務管理事業	木次図書館空調機修繕費	1,501	41,319	拡充
非常備消防総務管理事業	消防団員出動に伴う報酬	5,000	84,116	拡充
水道事業会計負担金	漏水している既設消火栓の修繕費 2箇所分（木次町新市 170万円、吉田町川手 30万円）	2,000	4,400	拡充
日本一さくらのまちづくり事業交付金	2025桜まつり年度内実施分に係る経費	3,943	6,985	拡充
雲南市観光協会補助金	市と観光協会の連携強化、組織の一元化に向けた事務所整備に係る追加補助	3,741	50,732	拡充
林地崩壊防止事業	令和6年11月発生林地崩壊の測量設計業務委託及び応急工事費	13,000	73,400	拡充
除雪総務管理事業	除雪作業業務委託費	96,248	166,429	拡充
急傾斜地崩壊対策事業負担金	急傾斜地崩壊対策事業増に伴う負担金	12,550	37,759	拡充
公園施設整備事業	加茂中央公園野球場改修費、都市公園危険施設解体撤去工事費	65,730	138,730	拡充
農林災害総務管理事業	災害增高申請字切図作成業務費	2,000	3,500	拡充
飯石交流センター管理事業	飯石交流センター空調更新工事費	2,310	3,486	拡充

福間 守	石原 忍	廣野 祐二	渡辺 重光	後藤 昭三	高橋美佐子	多賀 法華	安田 栄太	梶谷 佳平	上代 和美	中林 孝	中村 辰真	矢壁 正弘	佐藤 隆司	原 祐二
○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○

令和6年12月定例会

議案 陳情 審議結果

条 例	採決結果	採決状況
雲南市税条例の一部を改正する条例 ・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴い、条例を改正するもの	可決	全会一致
雲南市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 ・行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴い、条例を改正するもの	可決	全会一致
雲南市農林業関係事業分担金徴収条例の制定 ・複数の現行条例を統合し新たに条例を制定するもの	可決	全会一致
土地改良法の規定に基づく特別徴収金に関する条例の制定 ・特別徴収金に関して新たに条例を制定するもの	可決	全会一致
雲南市手数料徴収条例の一部を改正する条例 ・建築基準法の一部施行に伴い、条例の一部を改正するもの	可決	全会一致
雲南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ・雲南市議会の議員の期末手当の改定を行うため、条例の一部を改正するもの	可決	賛成多数
雲南市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 ・雲南市職員の給与等の改定を行うため、条例の一部を改正するもの	可決	全会一致

一 般 事 件	採決結果	採決状況
公の施設の指定管理者の指定（45件）	可決	全会一致
教育施設等解体撤去事業旧久野小学校解体工事（建築）請負契約の変更	可決	全会一致
教育施設等解体撤去事業掛合体育館解体工事請負契約の締結	可決	全会一致
市道の路線認定（給下18号線・日南線）	可決	全会一致
市道の路線変更（佐世線・陰地線）	可決	全会一致
財産の取得 ・道の駅さくらの里さすき活性化整備事業に供する土地の取得	可決	全会一致

予 算	採決結果	採決状況
令和6年度雲南市一般会計補正予算（第4号） ・補正額 1,569,000千円 補正後の額 36,758,000千円	可決	全会一致
令和6年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） ・補正額 2,198千円 補正後の額 4,166,598千円	可決	全会一致

予 算	採決結果	採決状況
令和6年度雲南市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号） ・補正額 9,721千円 補正後の額 1,278,951千円	可決	全会一致
令和6年度雲南市水道事業会計補正予算（第3号） 【収益的収支】 ・水道事業費用 補正額 ▲6,541千円 補正後の額 1,271,232千円 【資本的収支】 ・資本的収入 補正額 35,000千円 補正後の額 392,110千円 ・資本的支出 補正額 35,000千円 補正後の額 837,146千円	可決	全会一致
令和6年度雲南市下水道事業会計補正予算（第3号） 【収益的収支】 ・下水道事業収益 補正額 13,035千円 補正後の額 2,121,713千円	可決	全会一致
令和6年度雲南市病院事業会計補正予算（第2号） 【収益的収支】 ・病院事業収益 補正額 ▲41,629千円 補正後の額 5,063,210千円 ・病院事業費用 補正額 22,590千円 補正後の額 5,817,242千円 【資本的収支】 ・資本的収入 補正額 ▲989千円 補正後の額 385,718千円	可決	全会一致
令和6年度雲南市一般会計補正予算（第5号） ・補正額 191,536千円 補正後の額 36,949,536千円	可決	賛成多数
令和6年度雲南市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） ・補正額 2,395千円 補正後の額 4,168,993千円	可決	全会一致
令和6年度雲南市水道事業会計補正予算（第4号） 【収益的収支】 ・水道事業費用 補正額 2,446千円 補正後の額 1,273,678千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 1,125千円 補正後の額 838,271千円	可決	全会一致

採決結果

（議案で賛否の分かれたもの）

12月定例会分 議長は採決に加わりません 「○」・賛成 「●」・反対

議 案 名	採決結果	竹部 貴博	原 良太	吾郷 希穂
雲南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	●
令和6年度雲南市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	●

予 算	採決結果	採決状況
令和6年度雲南市下水道事業会計補正予算(第4号) 【収益的収支】 ・下水道事業費用 補正額 1,535千円 補正後の額 2,045,203千円 【資本的収支】 ・資本的支出 補正額 714千円 補正後の額 1,663,328千円	可決	全会一致
令和6年度雲南市病院事業会計補正予算(第3号) 【収益的収支】 ・病院事業費用 補正額 113,019千円 補正後の額 5,930,261千円	可決	全会一致

報 告		
議会の委任による専決処分の報告について ・法律上市の義務に属する損害賠償の額を定めること及びその和解に関して、議会の議決により委任された事項について専決処分したのものについて報告するもの		
陳 情	採決結果	採決状況
さくらおろち湖湖畔道路歩道の整備に関する陳情	採択	全会一致

令和6年第2回臨時会

議案 審議結果

承 認	採決結果	採決状況
令和6年度雲南市一般会計補正予算(第3号) ・補正額 43,000千円 補正後の額 35,189,000千円	承認	全会一致

同 意	採決結果	採決状況
雲南市教育委員会委員の任命につき同意を求めること 菅原純子さん(木次町)	同意	賛成多数
雲南市監査委員の選任につき同意を求めること 中村辰真さん(木次町)	同意	賛成多数
雲南市監査委員の選任につき同意を求めること 渡部彰夫さん(三刀屋町)	同意	賛成多数
雲南市公平委員会委員の選任につき同意を求めること 勝部新治さん(加茂町)	同意	全会一致
雲南市公平委員会委員の選任につき同意を求めること 岡田志保さん(松江市)	同意	全会一致
雲南市公平委員会委員の選任につき同意を求めること 中川修一さん(松江市)	同意	全会一致

選 挙
雲南市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

傍聴のご案内



傍聴席へモニターを設置しました。
各委員会の傍聴もできますのでお越しく下さい。
※詳しくは右のQRをご確認ください。



委員長報告

総務常任委員会

委員長 梶谷 佳平

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された39件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・雲南市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

この条例は、雲南市議会の議員の期末手当の改定を行うものです。

問 特別職・三役の改定を行わなかったことによる効果は。

答 県内各市の財政状況により対応は様々である。予算の減額効果は、三役合計で14万円程度である。
・公の施設の指定管理者の指定について

この条例は、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

問 指定管理者は、3年間の人件費や物価高騰の

見込みが付かない。積算時の単価の公表、精算による対応が必要では。

答 単価については公表していない。積算に当たっては、最低賃金を上回る積算により総額を算出している。最低賃金の状況によっては事業者との打ち合わせも考えたい。

(主な予算の審査状況)
・令和6年度雲南市一般会計補正予算(第4号)

指定管理者物価高騰対策支援事業は、国の物価高騰対応重点支援地方創



さくらおろち湖歩道のない道路の整備

生臨時交付金を財源に、電力・燃料費などの価格上昇分を指定管理者に補助金として交付するものです。

問 当初予算に対して、1,057万円減額の要因は。

答 当初予算では、令和5年度の実績に基づき最高額で予算化していたが、国・県の補助金において重複しているものもあり、実績に基づき減額した。

(陳情の審査)
・さくらおろち湖湖畔道路歩道の整備に関する陳情

この陳情は、さくらおろち湖湖畔道路に歩道の早急な整備を求めるものです。

歩道の無い区間は、陽当りも悪いうえ路面には落ち葉も多く滑りやすい。S字カーブは見通しも悪く、各種イベントの際でも、歩車道一体の状況は非常に危険であるため、早急な歩道整備が必要との意見がありました。

採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定

しました。

教育民生常任委員会

委員長 上代 和美

(議案の審査)

本委員会に付託及び委託された15件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。

(条例等の審査状況)

・公の施設の指定管理者の指定について(木次体育館・木次運動公園・斐伊川河川敷公園)

問 斐伊川河川敷公園の公衆トイレの清掃がされていないという苦情を聞く。利用者の心象を良くすべきでは。また、管理の内容として清掃頻度のルールはあるのか。

答 今後良いイメージを持つてもらうよう管理を徹底する。指定管理の公募の際には回数は決めていない。

(主な予算の審査状況)

・令和6年度雲南市一般会計補正予算(第4号)
①環境衛生総務管理事業

93万円は、市営墓地使用権返還に伴う既納使用料の返還金です。(3件分)

問 これまでの返還は何件あったのか。

答 市営墓地条例は、令和5年3月議会で改定され、4月から施行されている。今年9月補正まで



斐伊川河川敷公園の公衆トイレ

に11件、約330万円返還している。

②大東高等学校特別支援事業418万円は、令和7年度入学者受け入れのため、定住促進住宅グラウンデ大東95の空き物件を寄宿舎として整備するものです。

問 今後女子寮はどうするのか。また、個人下宿はどうするのか。

答 現在、女子生徒の住まいについては個人下宿1軒を用意し、4名入居できるようにしている。個人下宿については、大東高校に通える距離で引き受けていただけるところを引き続き探していく。
・令和6年度雲南市病院事業会計補正予算（第2号）

問 赤字の要因はなにか。また、6月に導入されたDPC（医療費の計算方式で包括評価方式のこと）がその要因になっているのか。

答 全体的に予算比較ではマイナスになっている

が、DPC移行が原因ではない。11月時点の前年度比は入院収益が1億1,200万円増、外来収益が500万円増となっており、前年比ではプラス

産業建設常任委員会

委員長 安田 栄太

（議案の審査）

本委員会に付託及び委託された18件の議案について審査し、全て可決すべきものと決定しました。
（条例等の審査状況）
・市道の路線認定について

この条例は、三刀屋町給下地内にある民間宅地分譲地内を通る道路を市道として路線認定するものです。

問 市道認定要件を満たしている造成地内の道路は、全て市道認定するのか。

答 民間業者の宅地造成工事は、事前協議をして認定要件を満たす道路になるよう指導している。

である。要因は当初予算の立て方がDPCにむかう中で想定との乖離（か）が あったと 考 えて いる。

工事完了後に申請され、認定要件を満たす道路は市道認定する。



三刀屋給下地内の路線認定

・財産の取得について
道の駅さくらの里きすき活性化整備事業の実施のために土地を取得するものです。

問 地目が山林と雑種地の2種類あるが、それぞれの単価（㎡）は。

答 実際は山砂を取った平坦な土地であり、雑種地に近い状態なので、一面の土地と捉えて鑑定評価をしている。単価（㎡）は6,308円になる。

（主な予算の審査状況）

・令和6年度雲南市一般会計補正予算（第4号）

①観光協会補助金374万円は、本市と観光協会の連携強化に向けた、事務所の整備等に関する経費です。

問 事務所の整備とは具体的に何をするのか。

答 現在、観光協会の事務所は建物の2階にあり、観光客等に不便をかけている。観光客への情報発信等をスムーズに行うため、コトリエット内に事務所を設置できないか現在、観光協会において検討を進めている。

②公園施設整備事業6,573万円は、加茂中央公園野球場の改修工事費



現在の観光協会の建物

等と木次運動公園野球場の照明塔の解体撤去の工事費等です。

問 木次運動公園野球場の照明塔は、撤去後に新たな照明塔を設置するのか。

答 照明塔は撤去のみで再設置の予定はない。

問 利用者への説明はあったのか。

答 主だった利用者には、状況を説明し理解をいただいている。

問 スコアボードも以前から危険な状態だが改修しないのか。

答 令和3年春頃に一部修繕を行っている。

一般質問



12月定例会

質問者の意思を尊重し、本人提出の原稿をほぼそのまま掲載しております。質問項目すべてを載せているものではありません。QRコードからインターネット配信が見られます。

結果を出して いく事が大事



廣野 祐二



問 鳥獣害対策について、
どう考えているか。

答 イノシシの年間捕獲頭数は、2千頭が適正と考えている。猿被害については、様々な方法を行っているが、効果的な方法を模索している。被害や出没が多い地区で、学習会等開催している。

問 空き家対策について、
どう考えているか。

答 空き家所有者に対して、適切な対応のお願い、パンフレットの送付を行っている。

問 コウノトリと共生する
まちづくりについてど
う考えているか。

答 巣塔の設置は条件さえ整えば、民有地も含めて積極的に設置する。情報発信等については、学習会、パンフレット、ホームページ等で、積極的に進めていく。経済効果については、コウノトリの恵を活用し、市のブランド価値の向上を図り、取り組みを進める。

問 やってる感ではなく、
結果を出すことが大事と
思うが、いかがか。

答 結果というものは、非常にこだわりを持って取り組んでいくべき問題だと思っている。

空き家の管理は 適正に



矢壁 正弘



問 大東地内の空き家が
危険な状態となり、略式
代執行で解体された。本
市内に同じような空き家
が多く見受けられるが、
今後同じ対応が取られ
るのか。

答 空き家の管理は、所有者等が適切に管理すべきもの。管理に対する意識の啓発や情報など所有者に届ける。また、公共施設に著しく影響を及ぼす場合に限り、「空き家対策特別措置法」に基づき命令、勧告、指導を行う。

問 中山間地においても
隣家の倒壊で被害が出る
恐れのある民家があるが、
対応は同じか。

答 管理責任は所有者なので、被害が想定される

場合でも、公共施設に影響がない限り当事者同士での解決となる。

問 これまでの定住対策
は、U・Iターン者に特化
した施策が多いが人口維
持の観点から、本市にお
住まいの皆様への施策の
拡充を図るべきでは。

答 当然U・Iターン施策も必要だが、今現在、お住まいの皆様方にも住み続けていただく、住み続けたいと思っただけの取り組みをしていく。

財政見直しと 効果的定住対策を



原 良太



問 財政調整基金からの
繰入を見直すべきで、新
規事業実施の見送りも検
討すべきでは。

答 当面の収支不足が解消されず基金からの繰入

を行っている。新規事業であるからといって実施を見送るべきではない。

問 子育て世帯定住宅地
購入支援事業の廃止はあ
るか。

答 本事業は効果的な定住施策である。しかしより効果的な対策があれば検証・検討は当然行う。

問 住宅用地の整備供給
をもっと進めるべきでは。

答 土地開発公社の経営計画において地域要望等から検討・評価を行う。一方で増加する空き家等既存ストックの活用が重要である。

問 市民が抱える介護・
障がい・生活困窮その他
複合的課題に対応するた
めの包括的な支援窓口の
設置を検討すべきでは。

答 規模が小さく、地域包括支援センター他、既存支援体制の連携が比較的しやすい本市において、新たな総合相談窓口の設置は、費用対効果を検証して導入の可否を判断する。

地域医療の
充実・強化を



石原 忍



問 地域医療を守り安定した医療提供体制を図って行くためには、医療従事者の確保が必要不可欠であるが、市としての確保策は。

答 鳥根県においては県内で働くことを目的とした奨学金の貸与や返還助成制度があり、この制度を活用しながら県や教育機関と連携して看護師・薬剤師などの不足に対応して行く。

問 少子化対策や若者世代の移住定住促進のためには小児・周産期医療体制の維持・確保が大変重要であるが、そのためにはどのようにすべきと考えるのか。

答 高度医療機関である鳥根大学や県立中央病院

などと連携を図りながら、雲南地域での出産ができる体制の維持に努めて行く。



小児・周産期医療体制の維持・確保

問 雲南二次医療圏存続に向けては常に県に対して働きかけて行く必要があると考えるが。

答 鳥根県の方向性としては、今後も現行の医療圏を継続して行く考えと聞いているが、雲南医療圏の必要性については引き続き県などへ働きかけて行く。

原子力発電所の
事故への対応は



梶谷 佳平



問 南海トラフ巨大地震が発生すれば、日本海側も激甚災害が予想される。原発事故は、地震だけでなくテロ・誤操作でも発生の可能性があるが、原発事故に備え市民の避難誘導体制は万全か。

答 防災対応等に万全の概念は無く、常に最善を目指し努力する必要がある。原発事故に対して、主要機関と連携した原子力防災訓練で課題の抽出を行い避難計画の実効性を高めることが重要。自身で避難等が困難な方は、雲南市から実働組織（自衛隊・警察・消防など）に協力要請を行う。また、児童生徒は、警戒事態等の段階で保護者へ引き渡しを開始し、引き

渡しができなかつた場合、連絡網で避難先等を保護者に通知し引き渡す。雪等で避難経路に支障が生じた場合、実働組織へ支援要請を行う。雲南市は、国の原発再稼働交付金が約5千万円あり、令和6～7年度、市道の舗装修繕等を行う予定。また、安全確保交付金が約7千500万円あり、令和7～8年度、市道に除雪車の回転場整備と除雪機械2台の導入を予定している。

抜本的な行政
改革が必要だ



中林 孝



問 市長施政方針によれば新たな財源の確保を進めるとあった。新たな財源とは何を意味するか。

答 これまで活用してこ

なかつた補助金、交付金、地方債などが無いのか検討し、それに見合った形で事業の見直しを行う。財源問題に目を向けながら歳出を考える、そうした取り組みを進める。

問 10割の財源なら問題は無いが、そうでなければ結局のところ本市の財政問題は解決しない。収支不足を解消するためには抜本的な行政改革が必要だ。来年度予算の基本的な考え方によれば、ほぼ一律のマイナスシーリングとなっている。こうした方法が従来から続いており本当に必要な事業に予算が回らなくなってきた。徹底した行政改革が必要だ。

答 現状の事業で不要なものはない。大きな歳出を削減するとそれに伴う様々な課題も出てくる。本当に細かい身を削るような努力をしながら何とか財政状況のバランスの維持、確保を図っていく。

海潮中学校
閉校後の状況



福間 守



問 海潮地区から大東中学校へのスクールバスの運行状況は。

答 従来の市民バス、海潮北回り線及び海潮南回り線に加え、北回りに新たにスクールバスを1台配置し、登下校に運行している。

問 海潮小学校を旧海潮中学校へ移転するための改修内容や時期は。

答 小学校と中学校の規格の違いの是正のため、階段に手すりをつけたり、バスケットゴールの高さを変更したりするなどを検討している。令和8年9月の新校舎スタートを提案したが、もっと早くできるよう検討している。

問 農業者の高齢化と担い手確保の対策は。

答 担い手以外で集落の農業活動を継続される取り組みへの支援や法人化に向けた助言や支援を継続する。農業大学校等と連携し新たな担い手の確保に努める。

中山間地域等直接支払制度の第6期へ、現在の155集落協定の全ての継続が目標。活動の省力化、効率化や事務負担の軽減を図る取り組みを推進する。



農業の担い手確保対策

育児休業中の
特利利用拡充を



吾郷 希穂



問 育児休業中の保育園等利用は原則「家庭で子どもの育児ができる」とし短時間利用となり3時間利用が短くなる。祖父母がまだ若くフルタイムで勤務していたり、核家族やシングル、多様な生活様式の家がある。行政のシステムだけが頼りの綱である家庭もあり、行政利用の幅を増やすことは必要だと感じる。育児休業中の利用を標準と同じ11時間利用できるようにならないか。

答 国の制度だがニーズがあるのは承知している。現在改めて検討を始めた。

問 本市の給食はお米が地産地消率100%と素晴らしく、中央学校給食センターには地産地消

コーディネーターが1人配置されている。食育と絡め、Uターン促進と農業従事者拡大に向け、もっとアピールしたらどうか。

答 第3次雲南市総合計画に環境に配慮した農業の推進を掲げている。食の豊かさや給食の取り組みも含め周知していく。



市民の声が届く
選挙制度を



竹部 貴博



問 市議会議員選挙の投票率は、前回と比べ5.65%低下した。投票率低

下の一因として、投票の仕組みが、現代のライフスタイルに合っていないことが考えられる。有権者の政治参加の促進は、市政を支える基盤である。DX化、学校や商業施設及び移動期日前投票所の設置で若者への参加促進を図ることや、移動手段の確保で、高齢者や障がいのある方へのサポート体制が必要と考えるが、見解と今後の取り組みは。

答 オンライン投票の議論はなされているが、本人確認、買収や強要のチェックが課題。移動手段については、市民バスの臨時運行、デマンドタクシーの更なる周知と運行方法の改善が必要。いづれにしても、他の優れた実績を踏まえて、調査、研究を続けながら、投票しやすい環境づくりを進めていく。

他 脱炭素化推進について、市民への周知方法、調査の計画及びDX技術の活用への質問。

利用者に優しい
市民バス運行を



上代 和美



問 先に行われた市議会議員選挙の遊説中に掛合

の連坦地のみなさんから「市民バスに乗るために連坦地から国道沿いにあるバスの停留所まで行かなければいけない。バス停までの距離があり、高齢者にとっては大変。連坦地側をバスが通るようにしてもらえないか」との声を聞いた。

答 交通弱者である高齢者にとって、市民バスはなくてはならない公共交通になっていく。もっと利用者により優しい利便性を考慮した運行コースに見直すべきではないか。

答 連坦地内は道路が狭く、軒先も低く走行が困難である可能性がある。まずは技術的に可能である

るかどうか確認した上で、最適な方法を考えていく必要がある。しかしながら、貴重な意見なので、来年度の雲南市地域公共交通計画の見直しの中で議論していきたい。

問 見直しにおいて、意見集約はあるのか。

答 全面的な意見を聞く場を設けていく。現在、乗降調査をし、利用の実態をつかむところから着手している。

部活動から
地域クラブへ



原 祐二

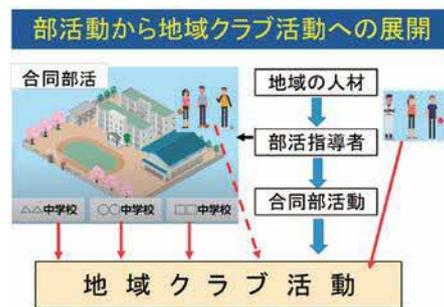


問 部活動の地域移行（社会教育活動）に向け

た、第5次雲南市教育基本計画での検討状況は。

答 地域移行期間中の部活動運営の工夫、ガイドラインの策定、スムーズ

な移行への保護者及び地域の理解・協力を柱に新たに検討している。



問 市内外の地域クラブへの加入状況は。

答 運動クラブは、市内11種目に80人、市外9種目に21人が参加している。

問 地域クラブ活動への財政支援の現状は。

答 備品購入は隔年で助成している。大会派遣の自己負担は、部活動より多い。財政負担の在り方を今後検討したい。

問 活動拠点施設の利用

料について、財政支援を求める。
答 スポーツ少年団と同

様な拠点施設の減免等を検討していく。

道路標示・標識の
視認性確保を



中村 辰真



問 道路標示、標識には重要な意味がある。最重

要標示に横断歩道がある。通学路や信号機のない横断歩道で運転手が認識できなければ事故につながる。あわせて、センターラインと側線が共に消えている箇所もある。引き直すには広範囲となるが対応は。

答 市道の区画線の引き直しについては、地域自主組織、学校関係者から多くの要望があり、道路維持管理計画に基づき、計画的な引き直しを実施している。横断歩道の引き直しは、県の公安委員

会の所管であり、県の公安委員会を紹介している。



消えかけた横断歩道表示

問 市議会議員選挙の告示後にも一定の禁止行為

がある。どのような行為が禁止されているのか。

答 立候補の届出後、選挙運動期間になっても、次のような運動をすると選挙違反になるおそれがある。例えば買収、戸別訪問、飲食物の提供、文書の配布、文書の掲示、回覧などや、インターネットなどを利用した選挙運動についても一定の規制が禁止行為として定められている。

各委員会の紹介

本会議で扱う問題は数が多く、内容も幅広い分野にわたるため、これらをいくつかに分けて審査する機関として委員会が設けられています。雲南市では次の委員会が設置されています。



議会運営委員会



主な役割

円滑な議会運営を行うために、会期、議事日程、議案、請願・陳情の取り扱いなどについて協議

総務常任委員会



主な役割

政策企画部、総務部、防災部、市民環境部（市税及び地籍調査に関する事項）、会計課、監査委員、公平委員会及び選挙管理委員会の所管事項及び他の常任委員会の所管外の事項を調査・研究

教育民生常任委員会



主な役割

市民環境部（市税及び地籍調査に関する事項を除く）、健康福祉部、こども政策局、教育委員会及び雲南市立病院の所管事項を調査・研究

産業建設常任委員会



主な役割

産業観光部、農林振興部、建設部、上下水道局及び農業委員会の所管事項を調査・研究

島根原子力発電対策特別委員会



主な役割

原発問題に係る危機管理及び安全対策等について調査・研究

議会広報広聴特別委員会



主な役割

議会の広報及び広聴に関する調査・研究

予算審査特別委員会

主な役割

議会に提出された予算案について審査

島根県東部四市議会議員交流会

副議長 原 祐二

島根県東部四市議会議員交流会は、松江市で開催され、議員13名事務局職員2名が参加しました。

研修会では、松江市出身の国土交通省・国土政策局総合計画課長、石倉誠司氏から「国づくりのビジョンと地域交通」について講演いただきました。

国土づくりと日本の現状については、第三次国土形成計画（全国計画）の概要、2050年には約2割が無居住化すること、高齢者や外国人の人口推計、都道府県別の経済的豊かさ（可処分所得と基礎支出）について様々なデータから説明いただきました。

また、持続可能な経済社会には、新たな地域生活圏の形成が必要であり、

広域・他分野・官民の連携による地域生活圏の構築・展開の推進が求められること、2地域居住等の多様なライフスタイルの実現、テレワークによる新しい働き方、遠隔診療や遠隔授業で、場所にとらわれないサービスを目指すための先進事例や推進策をアドバイスいただきました。

地域交通については、現状と取り組みの方向性として、乗合タクシー・AIオンデマンド・公共ライドシェア・日本版ライドシェアの対策例、国土交通省における「交通空白」の解消に向けた組織設置、地域の足・観光の足対策、先進地の事例を紹介いただきました。

「交通空白」の解消に向け、デジタル技術を活用し、地域のあらゆる関係者が参画した連携・協働の取り組みを進め、地域交通の「リ・デザイン」の必要性を研修会に参加して感じました。

研修会後には、意見交換会も開催され、様々な話題で親睦を深めることができました。



編集後記

11月に行われた市議会議員選挙で新しい9名の新人議員が入り、新体制19名での議会が始まりました。議会独特の雰囲気。進んでいく事柄の多さと大きさを実際に感じ、改めて気を引き締め直しました。

そんな折、島根原発2号機が再稼働し始めたという一報がありました。燃料費高騰の波が各家庭に衝撃を与えています。原発の発電コストは大幅に増加しているように、電気料金が値上げされるか？という期待は外れそうな流れでしょうか。福島原発は13年経っても緊急事態宣言が解除されない現実。便利と隣り合わせの問題は山積みのまま、日本全体でどこに向かうか声を出し続ける必要があります。

これから新体制の熱気で、子どもたちに渡していく雲南市のために恥じぬよう皆で議論を重ねて参ります。(希)

請願陳情の提出について

3月定例会の請願・陳情は2月27日(木)17時まで、議会事務局へ提出してください。

上記の受付期限を過ぎた請願・陳情は、6月定例会での審査となります。

議会広報広聴 特別委員会

委員長 多賀 法華	委員長 原 良太	委員 吾郷 希穂	委員 石原 忍	委員 廣野 祐二	委員 渡辺 重光	委員 後藤 昭三	委員 原 祐二
-----------	----------	----------	---------	----------	----------	----------	---------

発行：雲南市議会 編集：議会広報広聴特別委員会 住所：島根県雲南市木次町里方521-1

雲南市議会事務局

電話：(0854) 40-1004 FAX：(0854) 40-1009 MAIL：gikai@city.unnan.shimane.jp

